

2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年1月22日作成)

小委員会名	メーソンリー工法改良研究小委員会	主査名：千歩 修 就任年月：2022年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主査名：川上 勝弥
設置期間	2022年4月 ～ 2026年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>CB 塀、補強 CB 造等で確実な施工が難しく、問題を生じているものがある。具体的には、RC 部・CB 部界面の鉄筋腐食、逐次充填工法の充填不良、かぶり厚さの不足等がある。これらの問題は、使用材料・施工方法を変えることによって改善できるものも多い。このため、工法の問題点・改善方法を検討する。</p> <p>初年度：メーソンリー工法の材料・施工上の問題点・改善方法について検討を行い、各年度の具体的な活動計画を策定する。</p> <p>2年度：主に、防錆鉄筋の使用について検討を行う。</p> <p>3年度：主に、既調合モルタルについて検討を行い、実験的検討も検討する。</p> <p>4年度：その他の改善方法について検討を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：有</p> <p>主査：千歩 修(北海道大学名誉教授) 幹事：三田 紀行(三重大学) 委員：青木 功(エスビック)、青木 孝義(名古屋市立大学)、足立 裕介(北海学園大学)、石井 克侑(日本 RM 建築協会)、石井 宏和(太陽エコブロック)、井上 斉(全国建築コンクリートブロック工業会)、井上 芳生(INO 建築構造研究室)、川上 勝弥(小山工業高等専門学校)、高橋 和雄(太陽エコブロック)、眞方山 美保(国土技術政策総合研究所)、田口 博之(ユニゾン)、長谷川 直司(国土技術政策総合研究所)</p>	
設置WG (WG名：目的)		
2022年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	メールによる審議のため、当初の活動計画とした内容の検討を行えなかった。
委員会活動の問題点 ・課題	コロナ対策のため、メールによる審議のため、十分な検討が行えなかった。